

// 特集 // 平成8年度 ブロック研究会活動報告

北海道ブロック

1. ブロックの運営状況

北海道ブロックの所属会員は41名で、このところブロック研究会への参加率が約半数弱で、しかも、参加メンバーも固定化してきたことから、学会の新発足を機会に会員の拡充とブロック活性化への対応策が検討課題となっている。

平成8年度のブロック研究会は、次のとおり開催した。

2. ブロック研究会活動報告

※ 第23回研究会の開催

期日：平成9年1月18日(土)

会場：道民活動センター「かでの2・7」

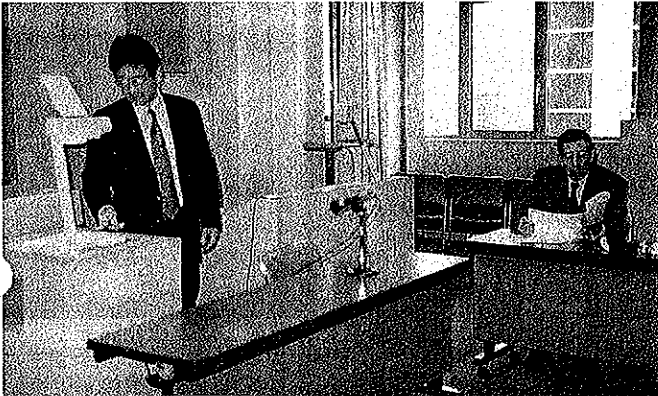
出席者：15名

白川智洋(静修短期大学)ブロックリーダーの開会挨拶と会務報告の後、能登洋子先生(札幌大学女子短期大学部)の司会により、研究報告2件と研究討議を行った。

* 研究報告その1

①アメリカの大学・短期大学における授業研究の視察報告
乳井克憲先生(静修短期大学)

乳井克憲先生は、アメリカの大学(コロンビア大学他)や短期大学(ベッカーカレッジ他)などの授業の観察および授業研究の方法について聞き取り調査を基に、視察報告を行った。



その概要は、①学習者に対する考え方②学習のしくみ③学習の設計者としての教員④教員の研修・研究⑤学習課題作成について⑥学習の評価⑦教育は継続的なプロセス など7項目わたって詳細に報告をされた。

* 研究報告その2

②秘書教育課程の推移と今後の展望

北崎寛先生(静修短期大学)

北崎寛先生は、日短協の秘書教育研究委員会が先に行った「大綱化に伴う秘書教育課程の推移に関する調査」(同調査のワーキンググループリーダー)で明らかになったこと、さらに今後の課題について報告をされた。

その概要は、まず今回の調査で、①秘書科・秘書専攻設置校は、「学生や社会が秘書教育に求めるニーズが変化し、新しい教育の枠組みが必要であるとの認識」を持つこと、②新しい枠組みづくりとして、秘書科・秘書専攻設置校では、教育課程の再構成が試みられていることなどが明らかになったこと。

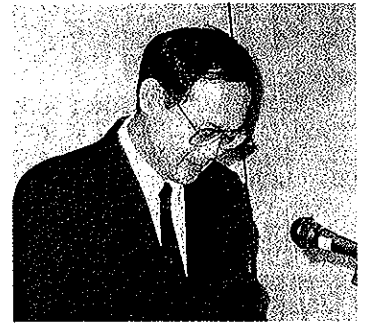
以上の点を踏まえ、今後検討を重ねるべき課題として、

①秘書教育に代わる新しい体系を確立すること ②昭和55年の設置基準で示された3領域の科目群の指定内容の検討 ③より間口の広いビジネスないしオフィス教育体系に秘書教育を吸収するとともに、学科・専攻名称の変更も考慮すること等を指摘された。

* 研究討議の概要

テーマ：[ビジネス実務教育・研究の今後の方向性]について、新発足の本学会の目的を達成するためには、今後どのような取り組みが必要とされるのか、ビジネス実務学の体系化と実践的展開への途を模索するべく、参加された会員個々から意見を述べてもらった。

(白川智洋記)



関東・東北ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度の研究会は、例年通り10月と2月に開催された。10月の研究会は自由テーマによる研究発表を中心に、2月の研究会は企業見学とグループ討議を中心に行われた。

2. 研究会活動

(1) 第23回研究会

平成8年10月19日(土)尚綱女学院短期大学の当番校により、仙台ガーデンパレスに51名の会員が参加して開催された。

研究発表に先立ち、産能短期大学渡辺裕一氏によるモデル授業「オフィス・スタディーズ授業の一事例」が行われ、参加会員が「学生」役となり、「オフィス・スタディーズ」の授業を体験した。この模擬授業により、体験授業の進め方や誤ったフィードバックの実際について、参加者自身が体験的に学んだ。

研究発表は下記の通りである。

- ・阿部康子(山形女子短期大学)「コミュニティにおける女性プロジェクトの推進——事例を中心に——」
- ・吉川雅之(産能短期大学)「創造性開発の教育プログラム」
- ・植竹由美子(仙台白百合短期大学)「生涯教育としての公共

職業訓練の一事例

- ・浅野浩子(仙台白百合短期大学)「イギリスにおける実務教育の実状」
- ・大島武(東京工芸大学女子短期大学部)「欧米ビジネス・スクールの教授法に関する考察」
- ・小池澄男(東京家政学院短期大学)「ビジネス系学科における情報処理教育の方向性——「ビジネス情報処理」とインターネット——」

(2) 第24回研究会

平成9年2月20日(木)城西大学女子短期大学部の当番校により、株式会社内田洋行潮見オフィスに62名の会員が参加して開催された。

今回の研究会は「ビジネス実務研究・教育の可能性」をテーマに、オフィス見学(希望者)・講演・問題提起・グループ討議の順に行われた。

オフィス見学は、株式会社内田洋行東京オフィスのショールームを中心に、37名の会員が2班に分かれて1時間ほど行われた。見学終了後研究会会場の潮見オフィスへ移動。

講演は、内田洋行エンジニアリングセンターの堤幸男所長により「これからのオフィス環境」のテーマで行われた。続いて、高崎経済大学の大宮登氏による問題提起「オフィス環境の変化に伴う実務教育の在り方」があり、次の3テーマにわかれて、グループ討議が行われた。

第1グループ「ビジネス実務教育の授業開発をめぐって」

第2グループ「ビジネス実務教育としての情報教育をめぐって」

第3グループ「秘書・ビジネス実務教育をめぐって」

オフィス環境の変化を、見学・講演によって実感し、実務教育の今後のあり方に、熱心な討議が続いた。

(風戸修子記)

中部〈東海・北陸〉ブロック



1. ブロックの運営動向
運営委員の補充、平成8年度・ブロック研究会の実施、ブロック会報の編集・発行、全国大会(名古屋)の受入れ準備の検討などを行った。

2. 研究会の活動

今年度のブロック研究会は、平成9年1月5日～6日、名古屋ガーデンパレスで、他ブロックから

の参加も含め40名の参加者で開催された。

ブロック・リーダーの吉田寛治先生より、学会が名称を変更して最初の研究会として意義あるものにした旨の主旨を含めた開催の挨拶があり、併せて当ブロック研究会の運営委員会の報告などがなされた。

続いて、開催に当たり島山正英先生より、2日間のスケジュールなどの説明があり、研究会に移った。

研究会は、以下のような内容であった。

◆講演

「ライフワークとしての仕事」と題して、女性起業家として名高いミックインターナショナル株式会社代表取締役・九鬼綾子氏の講演があった。氏のパワフルな事業展開の実績と経験に裏打ちされた講演内容は、現代の教育の在り方にも言及され、参加者に刺激を与えた。

◆研究発表

河野久子先生、明瀬純子先生、佐々木怜子先生、清水たま子先生の司会で、次の7研究の発表があった。

- ①「創造性を涵養する情報教育は可能か」松下紘子先生
- ②「秘書業務の効率化に関する研究」中村健壽・内山伊知郎先生・安田英理佳先生・一柳達幸先生・柴山正先生・石川雅健先生・國田千恵子先生・平田祐子先生・福岡欣治先生・

中谷内一也先生・余語真夫先生・加藤宏美先生

③「韓国の企業秘書(II)」島本みどり先生・水谷啓子先生・森田園子先生・油谷純子先生

④「秘書の専門性と教育」柴山正先生・河村眞澄先生

⑤「中小零細企業の経営者および経営補佐としての秘書の経営と資金繰りと販売強化の発想」北潟克輔先生

⑥「静岡県における企業のOA化に関する調査研究(中間報告)」安田英理佳先生・中村健壽・加藤宏美先生・戸田直先生

⑦「教員が学生に与える外的要因に関する一考察」長野眞理子先生

以上の研究発表は、いずれも秘書をメインテーマとしたものであったが、将来的には学会名称の変更に伴い、秘書だけに限ることなく、広くビジネスにおける諸現象を対象とした研究の展開、そして発表がなされることであろう。

◆全国大会について(打合せ)

吉田寛治ブロック・リーダーより、「日本ビジネス実務学会」として最初の全国大会が、本年6月、名古屋市において開催されることに関する報告と説明があり、その運営についてブロック会員全員の協力の要請がなされた。

◆懇親会

研究会第1日目終了後、河村眞澄先生の司会で、懇親会が開かれた。初めての参加者の方々による自己紹介、また研究発表者への質問や相互の情報交換などと、和やかな雰囲気の中で有意義な時間を持つことができた。

(中村健壽記)



近畿ブロック



第22回研究会(平成8年3月20日)

第22回研究会は、40名の参加者をして、大阪国際交流センターで行いました。はじめに、個人研究発表で、小原将温先生(神戸学院女子短大)の司会で進りました。一番手は、PL学園女子短大の足塚智志先生が、「以心伝心のオフィスからグループウェア指向のオフィスへ」という題のもと、従来のオフィスからグループウェアを利用したオフィスへの変貌の必要性を強調されました。

二番手は、神戸松蔭女子学院短大の西原佐智子先生が、「秘書の給料」と題して、ドイツの例と比較しながら、わが国の給料について発表されました。わが国の場合は、秘書の職務領域が明確でないで、秘書の給料という型で表わせないとこに悩みがあります。三番手は、大阪明浄女子短大の平田有史郎先生は「政策担当秘書制度における問題状況——資格試験合格者を中心にして——」と題して、ご自身が議員秘書だっただけに最も適した研究を発表されました。せっかく資格試験制度が登場したのに、政策担当秘書の採用は、現役の

議員秘書の研修終了者によって占められている点は問題であると指摘されていますが、まさにそのとおりで、制度の形骸化が進んでいるとよいでしょう。最後に大阪キリスト教短大の林雄太郎先生は、「秘書の非定型業務詳説II 労働災害の防止」と題して、労働安全衛生法を中心に、労働安全管理制度について発表されました。この部分は従来の研究から欠落していましたが、これが秘書の業務とどう結びついていくかが今後の問題でしょう。これらは、むしろビジネス実務といったもっと広い概念でとらえることが望ましいと思います。研究発表について、学会の名称変更について、福永ブロックリーダーが「日経アドレ」の「一般職不要の時代がやってくる」やホスピタリティビジネス、産能大のメンバーによる著書「ビジネス基礎」などをもとに、秘書研究中心から脱して研究領域の拡大の必要性について概略の説明を行い、参加者からの意見をうかがいました。つづいて会場を地下のカフェテラスに移して懇親会を行いました。平成7年10周年パーティーを予定しておりましたが、震災でとりや



めました。その代わりのものです。懇親会は武田寿子先生(神戸医療福祉専門学校)の司会のもとに和気あいあいの中で行われました。

第23回研究会(平成8年10月5日)

第23回研究会は、40名の参加者をえて、兵庫県立女性センターで行いました。最初は総会で、緒方真澄先生(平安女学院短大)の司会のもとに、福永ブロックリーダーの活動報告、会計報告、武田寿子先生の監査報告が行われました。つづいて武田先生の司会で、同センターの高坂副所長に同センターの活動の概略について講演していただきました。

研究発表は、今回は少なくして2人でした。小原将温先生の

司会で、はじめは、河原和英先生が「ビジネス情報技術とコミュニケーション——実務教育への一視点——」と題し、企業を考える視点、市場環境と企業の対応、コミュニケーションの変化、実務教育の対応に分けて、スタンドアローン型からネットワーク型へコンピュータが変化したことを中心に発表されました。大阪キリスト教短大の林雄太郎先生は、「ビジネスにおける非定型業務の研究Ⅲ 企業における防犯業務と誘拐防止対策」と題し、リスクマネジメントについて発表されました。最後に福永ブロックリーダーが、新しく示された研究対象領域をもとに、自らの体験をふまえ、今後の研究の方向を問題提起しました。(福永弘之記)

中国・四国ブロック



1. ブロックの運営動向
日本秘書学会中国・四国ブロック研究会から、新しく日本ビジネス実務学会中国・四国ブロック研究会と名称変更がなされた第1回目(通算13回)の記念すべき研究会が高知の土佐女子短期大学を当番校として開催された。今回特に各ブロックの活性化を図るために、総

会において、当ブロックと九州・沖縄ブロックとの統合案にもつぎ、地域再編成問題について熱のこもった議論がなされたが、種々の問題点が指摘され、中国・四国ブロックとしては、現状のまま活動を続けるという意見が大半を占めた。

2. 研究活動

第13回ブロック研究会は、平成8年10月5日(土)13:00~19:30、6日(日)9:00~12:00の両日、高知市のサン

ライズホテルを会場として、土佐女子短期大学の小松学長、辻川学科長、西川運営委員をはじめ、関係の諸先生方のお世話により開催された。参加者41名、研究発表は1日目11件、2日目に5件、合計で過去最高の16件にもなった。

今回の発表の大きな特徴は、すでに学会の名称変更を意識された、実務教育、ビジネス実務学の領域などが取り上げられていたことである。また、ブロック運営委員長の森貞先生からは、「日本ビジネス実務学会の今後の方向性」と題し、国内、国外における諸情勢の変化、諸外国の秘書教育の実情、秘書科・秘書専攻に対するアンケート調査の結果、ビジネス実務学の体系化、概念づけ、関連学会とのかわり、ビジネス実務学会の今後の方向性について講演がなされた。(桐木陽子記)



九州・沖縄ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度の運営委員会において第20回、第21回、第22回ブロック研究会の場所、日時、発表者等を決定し、またブロック会報の編集・発行等を行った。

本年度の第21回研究会は、今年度の特別企画として中国上海市の上海財形大学および中国銀行において開催し、日本と中国のビジネス教育の現状と課題についての意見交換を行った。また、八佰半有限公司を視察した。

2. 研究会活動

——第20回研究会——

期 日:平成8年2月24日(土)

場 所:天神幸ビル(福岡市天神)

出席者:24名

研究発表

①「日本の人事制度と女子社員の活用について」

発表者:杉原英夫(九州共立大学)

司 会:花崎正子(東筑紫短期大学)

②「ドイツ秘書団体の歩みと2010年の秘書」

発表者:佐藤昭雄(近畿大学九州短期大学)

司 会:北原康司(佐賀女子短期大学)

③「政治家秘書論について」

発表者:北原康司(同上)

司 会:光岡延幸(福岡女子短期大学)

④ シンポジウム「日本秘書学会の新たな発展のために」

——革新と創造への提言——

座長・パネラー:田中友幸(福岡女子短期大学)、パネラー:

坂本一登(福岡女子短期大学)

——第21回研究会——

期 日:平成8年9月26日(木)~9月29日(日)

場 所:中華人民共和国上海市、中国財形大学、中国銀行

出席者:24名(内中国側7名)、28名(同左11名)

研究発表

「日本におけるビジネス実務研究の現状と課題」

発表者:田中友幸(同上)、坂本一登(同上)

司 会:北原康司(同上)

——第22回研究会——

期 日:平成9年2月15日(土)

場 所:天神幸ビル(福岡市天神)

出席者:29名

研究発表

①「所謂、国際会計論に関する一考察」

発表者:北原康司(同上)、司会:光岡延幸(同上)

②「短大生の秘書・敬語イメージとその行動」

発表者:廣瀬千尋(宮崎女子短期大学)、司会:佐古俊郎(香

蘭女子短期大学)

③「ドイツ秘書連盟(BDS)の職務記述書範例にみる秘書の代理権について」

発表者:佐藤昭雄(同上)、司会:北原康司(同上)

④「ボランティア活動とビジネス能力開発」

発表者:田中友幸(同上)、司会:花崎正子(同上)

⑤ シンポジウム「必要とされる実務能力とは」

座 長:増田卓司(九州共立大学)、

パネラー:杉原英夫(同上)、宮崎鐘子(株式会社ガイア)

(坂本一登記)

ブロック研究会での研究発表一覧

【北海道】

- 「アメリカの大学・短期大学における授業研究の視察報告」
乳井 克憲 (静修短期大学)
- 「秘書教育課程の推移と今後の展望」
北崎 寛 (静修短期大学)

【関東・東北】

- 「コミュニティにおける女性プロジェクトの推移 一事例を中心に」
阿部 康子 (山形女子短期大学)
- 「創造性開発の教育プログラム」
吉川 雅之 (鹿能短期大学)
- 「生涯教育としての公共職業訓練の一事例」
植竹由美子 (仙台白百合短期大学)
- 「イギリスにおける実務教育の実状」
浅野 浩子 (仙台白百合短期大学)
- 「欧米ビジネス・スクールの教授法に関する考察」
大島 武 (東京工芸大学女子短期大学部)
- 「ビジネス系学科における情報処理の方向性 —「ビジネス情報処理」とインターネット—」
小池 澄男 (東京家政学院短期大学)

【中部 (東海・北陸)】

- 「創造性を涵養する情報教育は可能か」
松下 紘子 (愛知女子短期大学)
- 「秘書業務の効率化に関する研究」
中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
内山伊知郎 (同志社大学)
安田英理佳 (静岡県立大学短期大学部)
一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
石川 雅健 (名古屋女子文化短期大学)
国田千恵子 (金沢女子短期大学)
平田 祐子 (近畿大学短期大学部)
福岡 欣治 (同志社大学)
中谷内一也 (静岡県立大学短期大学部)
余語 真夫 (同志社大学)
加藤 宏美 (静岡県立大学短期大学部)

「韓国の企業秘書 (II)」

- 島本みどり (東邦学園短期大学)
水谷 啓子 (一宮女子短期大学)
森田 園子 (樟蔭女子短期大学)
油谷 純子 (大阪国際女子大学短期大学部)
柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
河村 真澄 (岡崎女子短期大学)

「秘書の専門性と教育」

- 補佐としての秘書の経営と資金繰り
と販売強化の発想
北崎 克輔 (金城短期大学)
- 「静岡県における企業のOA化に関する調査研究 (中間報告)」
安田英理佳 (静岡県立大学短期大学部)
中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
加藤 宏美 (静岡県立大学短期大学部)
戸田 昭直 (土佐女子短期大学)

「教員が学生に与える外的要因に関する一考察」

- 長野真理子 (常葉学園富士短期大学)

【近畿】

- 「以心伝心のオフィスからグループウェア指向のオフィスへ」
小原 将温 (神戸学院女子短期大学)
- 「秘書の給料」
西原佐智子 (神戸松蔭女子学院短期大学)
- 「政策担当秘書制度における問題状況 — 資格試験合格者を中心にし

- て—」
平田有史郎 (大阪明浄女子短期大学)
- 「秘書の非定型業務詳説II 労働災害の防止」
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
- 「ビジネス情報技術とコミュニケーション — 実務教育への一視点—」
河原 和英

- 「ビジネスにおける非定型業務の方法III 企業における防犯業務と誘拐防止対策」
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)

【中国・四国】

- 「秘書能力論」
村上 哲大 (土佐女子短期大学)
- 「ビジネス・コミュニケーション教育の手法開発 — アサーティブネス・スキルの応用事例 —」
石井 三恵 (広島女子商短期大学)
- 「これからの実務教育について」
磯田 圭子 (安田女子短期大学)
- 「情報処理科におけるビジネスコースのありかた」
梅田 和子 (作陽短期大学)
- 「ロシアの秘書事情」
藤田 雅子 (大阪青山短期大学)
- 「マルチメディア時代におけるビジネス実務教育の工夫と問題点の改善」
川端 淑子 (山陽学園短期大学)

- 「秘書のコミュニケーションと対処行動」
川村 郁夫 (宇部短期大学)
- 「ビジネス実務教育の課題 — 秘書学と関連諸科学」
堀 正久 (四国大学短期大学部)

- 「日本の企業システムの変化とビジネス実務教育の在り方」
山本 慶子 (香川短期大学)
- 「秘書実務教育の一考察 — 「女性学」の視点から—」
山野 邦子 (高松短期大学)

- 「高知県内企業におけるOA化の実態と実務教育」
中野 彰 (土佐女子短期大学)
- 「マルチメディアで学ぶ接遇マナー — プレゼンテーション能力育成の視点から—」
戸田 昭直 (土佐女子短期大学)

- 「コンピュータネットワークと秘書教育」
西川 三恵子 (土佐女子短期大学)
- 「企業実務実習」の意義とその成果」
佃 昌道 (高松短期大学)

- 「秘書教育の効果と展望 (第3報) — 秘書科卒業生の実態調査報告」
村井 嬉子 (聖カタリナ女子短期大学)
- 渡辺 和枝 (松山東雲短期大学)

- 桐森 陽子 (松山東雲短期大学)
- 森貞 俊二 (松山東雲短期大学)
- 三宅 耕三 (香川短期大学)

「ビジネス実務学の領域」

【九州・沖縄】

- 「日本の人事制度と女子社員の活用について」
杉原 英夫 (九州共立大学)
- 「ドイツ秘書団体の歩みと2010年の秘書」
佐藤 昭雄 (近畿大学九州短期大学)

- 「政治家秘書論について」
北原 康司 (佐賀女子短期大学)
- 「日本におけるビジネス実務研究の現状と課題」
田中 友幸 (福岡女子短期大学)

- 坂本 一登 (福岡女子短期大学)
- 「所謂、国際会計論に関する一考察」
北原 康司 (佐賀女子短期大学)

- 「短大生の秘書・敬語イメージとその行動」
廣瀬 千尋 (宮崎女子短期大学)
- 「ドイツの秘書連盟 (BDS) の職務記述書範例にみる秘書の代理権について」
佐藤 昭雄 (近畿大学九州短期大学)

- 「ボランティア活動とビジネス能力開発」
田中 友幸 (福岡女子短期大学)

平成8年度ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

- ◎(リーダー) ○(サブリーダー)
- 【北海道】
◎白川 智洋 (静修短期大学)
◎乳井 克憲 (静修短期大学)
北崎 寛 (静修短期大学)
丹治 和典 (道都大学短期大学部)
中松 井 弘子 (北海道女子短期大学)
- 【関東・東北】
◎藤 道子 (鹿能短期大学)
◎依 藤 香子 (常盤大学短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)
◎堀 江 光 (城西大学女子短期大学部)

- 中 畑 藤 子 (十文字学園女子短期大学)
- 古 田 利 幹 (山口短期大学)
- 佐 藤 久 子 (千葉経済短期大学)
- 勇 野 英 子 (東京経済短期大学)
- 木 村 英 子 (津田スクール・オブ・ビジネス)
- 木 村 英 子 (鹿能短期大学)
- 【中部 (東海・北陸)】
◎吉 田 寛 治 (金沢女子短期大学)
- ◎島 名 村 正 英 (愛知女子短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (静岡県立大学短期大学部)
- ◎中 明 村 正 英 (浜松短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (岡崎女子短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (金城短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (愛知学泉女子短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (東邦学園短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (江南女子短期大学)
- ◎中 明 村 正 英 (名古屋女子大学短期大学部)
- ◎中 明 村 正 英 (富山コンピュータ専門学校)
- ◎中 明 村 正 英 (名古屋女子文化短期大学)

- 【近畿】
◎福 永 弘 之 (兵庫県立姫路短期大学)
- ◎武 方 真 澄 (平女子学院短期大学)
- ◎武 方 真 澄 (大阪医療技術学園)
- ◎武 方 真 澄 (京都経営経済専門学校)
- ◎武 方 真 澄 (神戸学院女子短期大学)
- 【中国・四国】
◎森 貞 俊二 (松山東雲短期大学)
- ◎三 宅 耕三 (香川短期大学)
- ◎胡 原 義 隆 (鈴奈女子短期大学)
- ◎藤 取 子 (広島女子短期大学)
- ◎藤 取 子 (安田女子短期大学)
- ◎藤 取 子 (松山東雲短期大学)
- ◎藤 取 子 (土佐女子短期大学)
- 【九州・沖縄】
◎田 中 友 幸 (福岡女子短期大学)
- ◎北 原 康 司 (佐賀女子短期大学)
- ◎伊 志 木 博 志 (神崎キリスト教短期大学)
- ◎伊 志 木 博 志 (福岡女子短期大学)
- ◎伊 志 木 博 志 (東葉短期大学)
- ◎伊 志 木 博 志 (東葉短期大学)
- ◎伊 志 木 博 志 (福岡女子短期大学)

平成8年度入選会員 (平成9年3月20日現在)

- 【新入会員 (正会員)】
水 代 仁 (松山東雲短期大学)
- 依 藤 美 穂子 (信州短期大学)
- 吉 川 雅 之 (鹿能短期大学)
- 金 川 夏 夏 (大林専門学校)
- 金 川 夏 夏 (大林専門学校)
- 藤 井 静 子 (清泉女子短期大学)
- 田 原 隆 一 (鹿能短期大学)
- 藤 原 隆 一 (鹿能短期大学)

- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)
- 原 田 昭 夫 (四天王寺国際仏教大学)

- 沢 信 (東北)
- 林 隆 二 (愛国学院短期大学 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)
- 大 平 美 子 (常盤大学短期大学部 関東)